



## 4月7日 村内小中学校で入学式 新1年生が希望を胸に新たな一歩



新入生呼名で元気よく起立(東小学校)

村内各小中学校の入学式が開かれました。昨年に引き続き、感染症対策のため在校生など出席者の制限と式典時のマスク着用での開催となりました。

昭和中学校では、新入生55人が会場の体育館に入場。式では、吉澤琉生君が新入生を代表し「今までとは違った学校生活に期待や不安でいっぱいですが、55人全員で力を合わせていきたい」と抱負を述べました。

また、各小学校でも合わせて55人の新入生が入学しました。東小学校では、新入生が緊張した表情で式に臨み、新たな学校生活をスタートさせました。



緊張しながら入場(左、東小学校)、誓いのことばを述べる吉澤君(中央、昭和中学校)、真新しい制服で入場(右、昭和中学校)



## 3月30日 子育て保育園職員に消防長表彰 的確な連携で初期消火に貢献

林野火災で的確に消火活動を行った子育て保育園の赤石邦夫園長はじめ職員7人に、利根沼田広域消防本部の原澤俊通消防長から表彰状が贈られました。

この火災は、3月17日の昼過ぎに同園の近くで発生。枯れ草が燃えているのに気づいた職員らが互いに連携し、日頃の訓練の知識を生かして消火栓から放水し初期消火にあたりました。原澤消防長は「火災発生当時、強風で乾燥した気候だったことから、皆さんの迅速な消火活動が延焼を防いだ」と謝意を述べました。



表彰された子育て保育園の皆さん



## 3月11日 内田病院の買物支援事業 移動コンビニゆきちゃん号が来村

買い物弱者の支援のため、医療法人大誠会(田中志子理事長)のグループ会社、ヒューマンリレーションサポート(田中秀典社長)が利根沼田地域で展開する移動コンビニ「ゆきちゃん号」が役場を訪れました。

このサービスは、近隣に店舗がなかったり、自家用車がなく公共交通の制約で移動手段の確保が難しい方のために展開されています。利用を希望する場合は、電話で同社に連絡することで「コンビニ」さながらの軽トラックが希望者宅などを巡回します。



役場を訪れた移動コンビニ「ゆきちゃん号」



4月3日 沼須人形芝居あけぼの座・春の例大祭奉納公演

## 若い力が伝統芸能を継承

沼須人形芝居あけぼの座(金井竹徳座長)が沼須砥石神社内で奉納公演を行い「日高川入相花王」の演目で村内の中学生5人が座員として出演しました。

江戸時代からの伝統芸能を継承しているあけぼの座は、ベテランの団員と若い団員が一丸となり伝統文化を築いています。群馬県民芸術祭協賛事業として行う毎年恒例の奉納公演は、コロナ禍のため1年ぶりの開催となり、感染症対策を徹底して行われました。

また、コロナ禍の中でどう伝統文化芸術を行っているか、群馬テレビからの取材も受け放映されました。



織田澤龍法君(右)が演じる大蛇はクライマックスに登場



金井竹徳座長(左)、鬼女を演じた石田珠梨さん(中央)、三味線は左から織田澤寧音さん、ランドル・カレンさん、井上奈美さん(右)



## 4月15日 村づくり協力委員会 よりよい行政運営のため村に提言

昭和村村づくり協力委員会(星野和美会長)は役場では会議を開き、その席上で星野会長が堤村長に「村への提言」を手渡しました。この提言には、委員の皆さんが活動を通して感じた村政への意見や要望がまとめられており、2年に一度村長に手渡されています。

村づくり協力委員会は、各地区の代表委員17人で構成されており、この日行われた役員改選で、吉沢強さん(中野)が新会長に、高橋律子さん(吹張)と後藤政昭さん(滝寺)が新副会長に選出されました。



堤村長に提言書を手渡す星野会長



## 3月31日 行政相談委員を退任 角田信明さんに感謝状

3月末で行政相談委員を退任された角田信明さん(森下上)に総務大臣感謝状が贈られました。贈呈式は4月13日、堤村長立ち会いにより役場応接室で行われ、総務省群馬行政監視行政相談センターの船橋昌広所長から感謝状が伝達されました。

角田さんは、6年間にわたり行政相談委員として村民と行政のかけ橋となり活躍されました。角田さんは「村民の皆さんからの相談を一人で受けるということで、常に緊張感を持ち臨んでいました」と述べました。



船橋所長(右)から感謝状を手渡された角田さん



4月11日 消防団・春の教養訓練

## 安心・安全のため団員が訓練と点検



部隊訓練で行進する新入団員

村消防団(金井真一団長)が春の教養訓練を総合運動公園多目的グラウンドで行いました。

穏やかな晴天の下で行われた訓練には、感染症対策のため出席団員を縮小し、総勢40人が参加。利根沼田広域中央消防署員の指導により、服装や機械器具の点検、部隊訓練が行われたほか、新入団員に対する基本動作の指導も行われました。

なお、訓練に先立ち、昨年度に管轄地域での無火災を達成した第1・2・3・5・6・8・10分団に対し、堤村長から表彰状が贈られました。



無火災分団表彰(左)、全団員集合を命じる金井団長(中央)、ポンプ車など機械器具の点検(右)



5月1日 貝野瀬・川龍寺

## 御朱印で医療従事者に寄付

貝野瀬の川龍寺(今楯憲雄住職)で、チャリティー御朱印を頒布しています。この御朱印は、通常の御朱印とは別に限定100枚で行うもの。志納料は群馬県曹洞宗青年会を通して医療従事者に寄付されます。

河野太一副住職は「新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、私たちのために日々尽力されている医療従事者への感謝を込めて、またSDGsへの貢献のため用紙には環境・貧困問題にも配慮したバナナペーパーを使用し、心を込めて書いています」と話しました。



「龍」も手で描かれる川龍寺のチャリティー御朱印



## 4月20日 第一生命(株)と包括連携協定 地域の課題解決に向け連携

村は、第一生命保険株式会社(野田強群馬支社長)と地域の諸問題に迅速かつ適切に対応し、住民サービスの一層の向上を目的に連携する協定を締結しました。この協定は、健康増進や高齢者支援をはじめ広い分野で協力し、住民サービスのさらなる向上を目指します。

協定締結にあたり、堤村長は「村の進める事業で幅広く連携できることはありがたい」と歓迎のあいさつ。野田支社長は「我が社を十分に活用いただき、村民の皆さんのための活動をしていきたい」と述べました。



協定を手にする堤村長と野田支社長